

平成 27 年 度

一般財団法人秩父地域地場産業振興センター
事業報告書及び決算報告書

《 第 33 期 》

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

法 人 名 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター

代表者職氏名 理事長 久 喜 邦 康

所 在 地 埼玉県秩父市宮側町1番7号

平成27年度事業報告

<事業の概要>

当センターは、秩父地域における地場産業振興の拠点施設としてオープン以来、国・県及び秩父市並びに関係諸団体と連携し、地域産業振興のための各種事業を実施してきた。

平成27年度においては、新たに「国際産業連携推進事業」を受託するとともに、「飯能ペペ『ちちぶミニストア』事業」を実施した。「地場産品販路拡大事業」(ネット販売強化事業)、「需要開拓事業」とも合わせて、国内外への地場産品の販路拡大に努めた。

また、広域秩父産業連携フォーラム(FIND Chichibu)の活動を中心とした「産学官連携事業」・「産学官コーディネート事業」、「ちちぶ空き家バンク事業」等の地域産業振興事業を引き続き積極的に実施した。

尚、各事業の実施内容については、次のとおりである。

1. 産学官連携事業(秩父市補助事業 総事業費 1,600,000 円、秩父市より 800,000 円)

(1) 近隣大学・国公設試験機関及び支援機関と地元企業の交流

① 講演会(セミナー)・交流会の開催

i 「マイナンバー直前セミナー」の開催

日時 平成27年9月29日(火) 14:00~16:00

場所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 4階 大ホール

内容 10月からマイナンバーが通知されるための導入直前セミナー

講師 山口社会保険労務士・行政書士オフィス 所長 山口 恵美子 氏

参加者 地域内企業、行政機関、広域秩父産業連携フォーラム会員等 約100名

ii 「井沢元彦氏講演会」(経済講演会)の開催

日時 平成28年3月18日(金) 18:30~20:00

場所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 4階 大ホール

内容 テーマ 戦国武将に学ぶ地域戦略・経営戦略

「真田幸村に学ぶリーダーと組織の条件」

講師 作家/大正大学文学部客員教授 井沢元彦 氏

参加者 地域内企業、行政機関、広域秩父産業連携フォーラム会員

一般地域住民等

約200名

iii 先輩経営者に学ぶ講演会の開催 ~ 秩父ビジネススクール(オープンスクール)

イ 日時 平成27年 6月18日(木) 18:30~21:00

場所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

参加者 地域内企業、行政機関、FIND Chichibu 会員等 16名

内容 「中間管理職としての心得と

部下の採用、育成、管理の実体験について学ぶ」

講師 株式会社日本経営 副部長 橋本 達也 氏

ロ 日時 平成27年 8月 6日(木) 18:30~21:00

場所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

参加者 地域内企業、行政機関、FIND Chichibu 会員等 11名
 内 容 「いい会社をふやす」という経営理念に基づき、いい会社を創る社会的
 起業家をふやす、いい会社を目指す経営者・社員をふやす、そして、い
 い会社を応援する市民をふやすための取組について紹介する
 講 師 特定非営利活動法人いい会社をふやしましょう
 代表理事 江口 耕三 氏

ハ 日 時 平成27年10月29日(木) 18:30~21:00
 場 所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室
 参加者 地域内企業、行政機関、FIND Chichibu 会員等 18名
 内 容 デザインとビジネスを融合したコンサルティング会社を創業した経緯と
 今日の取組について紹介する
 講 師 株式会社 MatsuKatsu 代表取締役 松岡 克政 氏

iv 「FIND Chichibu 総会」開催

日 時 平成27年7月15日(水) 15時~
 場 所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他
 内 容 ○広域秩父産業連携フォーラム FIND Chichibu 総会
 ○コーディネート事業の紹介
 ○パネルディスカッション~秩父に移り、秩父で仕事を創った人たち
 (株)秩父健康計画 代表取締役 石神 正平 氏
 (株)やまのは 代表取締役 村山 雄一 氏
 (株)ベンチャーウイスキー ブランドアドバイザー 吉川 由美 氏
 ○交流会：食文化地域活性化分科会提案の地産地消メニュー
 参加者 地域内企業、大学・研究支援機関、金融機関、行政機関、
 地域内会議所・商工会 町議会議員 等 64名

v 「FIND Chichibu 中間報告会」(成果発表会)開催

日 時 平成28年 2月23日(火) 15時~
 場 所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他
 内 容 ○FIND Chichibu 成果発表会
 ・コーディネート事業報告
 専門コーディネータ 中小企業診断士 江田 元之 氏
 秩父商工会議所 経営指導員 〃 黒澤 元国 氏
 ・交流部会活動報告 部会長 吉田 智 氏
 ・広報活動報告 広報担当 佐藤 秀光 氏
 ・分科会活動報告
 ちかいなか分科会 分科会長 依田英一郎 氏
 食文化販路拡大分科会 分科会長 小泉 貴之 氏
 秩父ビジネススクール運営分科会 分科会長 山根 義法 氏
 予測研究分科会 分科会長 山口 秀樹 氏
 エコノミースクール運営分科会 分科会長 小笹 和壽 氏
 若手経営者実践分科会 分科会長 南 強志 氏

小型無人航空機研究分科会

分科会長 山口 能弘 氏

輸出推進調査研究分科会

分科会長 中村 雅夫 氏

○交流会：食文化地域活性化分科会提案の地産地消メニュー

参加者 地域内企業、大学・研究支援機関、金融機関、行政機関、
地域内会議所・商工会 町議会議員 等

57名

②企業視察等の開催及び受入

「FIND Chichibu 中間報告会」(成果発表会)の際に、拓殖大学山本尚史教授のエコノミックガーデニングを支持し、エコノミックガーデニングたかさき「高崎持続計画」の設立をめざす高崎青年会議所メンバーが山本教授とともに来所し、視察及び交流を深めるとともに、翌月に開催されたキックオフミーティングには、山田専務が出席し、先進事例として FIND Chichibu の活動を紹介した。

(2) 秩父地域の総合ポータルサイト(FIND Chichibu ポータルサイト)の充実と活用

新会員のポータルサイトの掲載を促進するとともに既存ページの更新に努めた。

今年度は、新規登録 2社、脱退削除 2社 登録企業数 152社(3月末現在)

ポータルサイト問い合わせ数 101件(月別 下表)

27年 4月	9	27年 8月	2	27年 12月	8
27年 5月	2	27年 9月	11	28年 1月	9
27年 6月	8	27年 10月	17	28年 2月	6
27年 7月	9	27年 11月	12	28年 3月	8

(3) 研究開発の促進・中核的支援機関との連携

「彩の国地域プラットフォーム」の支援機関として、中核的支援機関である(公財)埼玉県産業振興公社や埼玉県よろず支援拠点等との連携を密にした。

2. 産学官コーディネータ事業：秩父市委託事業(定住)

中小企業相談・指導実績を有する中小企業診断士を専門コーディネータとして招聘し、毎週火曜日と水曜日に地域コーディネータの加藤氏と秩父市企業支援センター職員や近隣町職員等と共に企業訪問し、企業が抱える課題、問題克服の助言、指導を行った。

具体的な内容はつぎのとおり。

(1) 活動実績

①総活動日数 95日

②人員別活動日数

〔専門コーディネータ〕 江田元之氏：43日 高浪正一氏：17日

高澤 彰氏：23日 阿部芳文氏：12日

〔地域コーディネータ〕 加藤薫一氏：88日

(2) 訪問実績

①総訪問数：185社 ②相談会来所先数24社 ③各種相談・助言先数：206社

(3) 主な成果

①産学官支援機関連携

- ・1市4町の企業支援制度の充実(同行訪問等の連携)により積極的な啓発活動(各種補助金、研修、講演会の紹介)が実施できた。
- ・企業の要請により、国、県、大学、及び地元商工会議所、商工会、金融機関等の支援機関

の紹介、取次等を実施した。

②集中支援

- ・昨年度に引き続き、啓発活動に加え、企業の課題に応じた集中支援（事業計画、販促、社員研修、企業再生）を実施。特に、売上の増加や社員のやる気の向上等につながっている。

③人材育成

- ・経営層、幹部社員を対象に、i 事業計画の作成方法（理念、目標、施策など） ii 不良品対策「指示、命令、報、連、相（ヒューマンエラー）」等ヒヤリングを実施した。
- ・全社員を対象に、社内コミュニケーションの取り方～資料「明るい職場作りピカイチを目指して」など集合研修を実施。＊手法としてK J法を実践。
- ・外部教育機関紹介と講師の手配（県職業能力開発センター＊品質管理、NC マシニング操作）

④各種補助金等

- ・ものづくり補助金、持続化補助金、省エネ補助金、経営革新計画補助金、出店補助金等について制度案内及び申請窓口紹介。利用啓発と申請書作成支援を実施した。

⑤5S取組

- ・企業より「5S レベルUP策と現場点検」のチェック要請があり、「儲かる5Sへの方向付け」と現場では、ムダ取り（レイアウト、歩行、照明等）を実践指導した。
- ・5S導入についてレクチャー「毎日15分清掃の取り組みについて（資料提供→基本は3S）」

⑥特別診断

- ・もの補助申請
 - i 事前相談（新工場建設計画と設備計画）
 - ii 緊急相談（前回不採択情報企業→不採択分析と申請ポイント）
※参考もの補助申請にあたっての留意点。
 - iii 新たな相談（サポイン制度について産学連携支援センターへ面談指導依頼）
- ・県のESCO事業の制度説明「省エネ診断、対策（工事～保守）」と省エネ効果「費用対効果」等
- ・新メニュー開発と新規誘客対策（特に冬場対策）

⑦連携支援

- ・商品の栄養成分分析を「日本食品分析センター」に取次依頼した。分析結果を販促資料として利用したところ売り上げ増加と製品への信頼感が向上した。
- ・新規事業制度調査のため i 「県担当課」へ同行訪問 ii 連携大学斡旋を「産学連携支援センター」へ取次依頼した。
- ・水の成分分析を「(公財) 埼玉県産業振興公社」へ取次依頼した。
- ・販路開拓（取引先紹介）を「県産業振興公社（次世代自動車連携支援センター）へ取次依頼したところ当社製品を「大手メーカー展示会」へ出店することができた。
- ・HP診断、のデザイン作成支援（看板、チラシ、ポップ、ラベル等）を「県よろず支援拠点」へ取次依頼した。＊持続化補助金用
- ・マテリアルフローコスト会計による「課題抽出と現場指導」（エコノミースクール・MFC T研究所）
- ・持続化補助金で作成した銘仙館協力の手提げ袋について市企業支援センターの協力を得てパブリシティ活用を支援した。

⑧実務指導

- ・ 経理について、経費と利益率分析及びパソコン会計ソフト入力方法助言。
- ・ 税務について、税務署への届け出事項について助言。
- ・ 商品、工事提案書のひな型提供。
- ・ パソコン選定と基本操作レクチャー（会議録、各種フォーマット作成など）
- ・ 中小企業基盤整備機構の経営自己分析システムによる財務分析と助言。
- ・ 商談会参加の仕方、取引条件の決め方、価格設定の際の考え方など情報提供
- ・ 新事業の方向性検討（情報系 R E S A S、e-stat,等の情報提供で市場の分析情報を提案）

⑨情報提供

- ・ 各省庁の補助金情報収集方法（クラウド）
- ・ ビジネススクール、エコノミースクール、への参加依頼。
- ・ エコアクション 21（環境省）取得研修会への参加依頼（市企業支援センター）
- ・ 事業承継とM&Aについて（少人数私募債、中小企業投資育成株式会社）
- ・ 商品開発について i OEM生産委託先 ii 女子栄養大学との連携提案
- ・ 求人情報「秩父市雇用創造協議会による面接会」
- ・ ふるさと名物応援事業
- ・ 小鹿野町の新規就農制度（農業大学、農林振興センターとの連携）
- ・ 創業支援「産業競争力強化法認定事業」（補助金、保証協会枠）
- ・ 西武鉄道ランチ、ディナー列車「52席の至福」

⑩その他

- ・ 秩父市ゆるキャラ「ポテくまくん」市の承認と活用方法
- ・ 新分科会設立（超小型航空機研究分科会）
- ・ 雇用対策としての若者向け雇用・バイト求人サイト（LINE アプリ）等情報提供
- ・ バイオマス発電
- ・ ふるさと納税商品
- ・ 西武鉄道温泉施設用「新商品開発支援」

※ FIND 中間報告会 コーディネータ活動報告(ワイナリー計画と第三セクターとの橋渡し役)

⑪地域の課題

- ・ キーワード「人口減少問題への対応、(雇用対策、10年後の仕事)」

3. 空き家バンク運営推進事業：秩父市委託事業(定住)

ちちぶ空き家バンク正副委員長会議、及び全体会議を年間7回開催し、1市4町、宅建協会秩父支部、FIND Chichibu ちかいなか分科会、事務局の各担当者により事業の運営について協議し情報の共有等を行った。

新規事業として、6月に体験住宅の先進地である山梨県（南アルプス市、身延町）へ事業内容や運営の現状を見学するため視察研修を実施し、各市町を中心に進める移住・定住促進制度の参考とした。

また、東京国際フォーラムにて開催された「ふるさと回帰フェア2015」出展、「秩父はんじょう博」出展、東京有楽町にて「ちちぶ田舎暮らしセミナー」を開催するなど、移住希望者に対する説明会を企画、実施した。

2月には、毎年好評頂いている「現地物件見学ツアー」を初めて冬期開催し、東京を中心とした多くの方に参加いただいた。当日は物件見学だけではなく、秩父地域の冬ならではの風土や食を体験してもらった。

- ・空き家バンク推進会議 全7回
- ・利用登録者数 309人 (H28.3.1現在) 圏域外…268人、圏域内…41人
- ・登録掲載物件数 43件 (H28.3.1現在)
- ・成約物件数 21件 (売買…17件、賃貸…4件)
- ・圏域外成約数 15件 (移住5件、交流10件)
- ・空き家バンクHPアクセス数 58,982件 (H28.3.1現在)



9月「ふるさと回帰フェア2015」



2月「現地物件見学ツアー」

4. 地場産品販路拡大事業：秩父市委託事業（ちちぶ定住自立圏）

(1) 秩父ふるさと便事業（ネット販売強化事業）

平成27年3月にリニューアルオープンした通販サイト「秩父ふるさと便」の運営概況報告。

	件数	PC	SP	売上	客単価	セッション	ユーザー	PV
3月	3	3	0	8308	2769	903	694	5328
4月	4	4	0	30596	7649	1172	926	4802
5月	6	6	0	27100	4517	2016	1741	6190
6月	6	6	0	38134	6356	1845	1574	5378
7月	8	7	1	42206	5276	2302	2024	6494
8月	18	12	6	63254	3514	2289	1867	7869
9月	5	2	3	11034	2207	1971	1624	6160
10月	13	8	5	66150	5088	2144	1722	7432
11月	19	12	7	69122	3638	2821	2232	10112
12月	33	16	17	177360	5375	2627	2166	8569
H28.1月	15	10	5	78864	5258	2249	1780	7518
H28.2月	11	8	3	77456	7041	1867	1467	6202
H28.3月	7	3	4	27468	3924	1602	1321	4958
合計	148	97	51	717052	4845	25808	21138	87012
年度合計	145	94	51	708744	4888	24905	20444	81684

※PC・・・パソコンからの注文、SP・・・スマートフォンからの注文

※セッション⇒訪問者がサイトを閲覧回遊し離脱するまでを「1」とカウントしたもの。

アクセス数

※ユーザー⇒同一ユーザーによるアクセスを「1」とした訪問者数

※PV（ページビュー）⇒サイト全体でページが表示された回数

(2)物産展への参加（需要開拓事業再掲出）

期 日	出展場所	催 事 名
9月12日～13日	山梨県地場産業センター	地場産業まつり
10月14日～20日	東京都庁	秩父路観光キャンペーン
2月7日～29日	飯能ペペ	ちちぶミニストア プレセール
2月26日～28日	山梨県地場産業センター	27年度春の地場産業まつり

5. 国際産業連携推進事業：秩父市委託事業（ちちぶ定住自立圏）

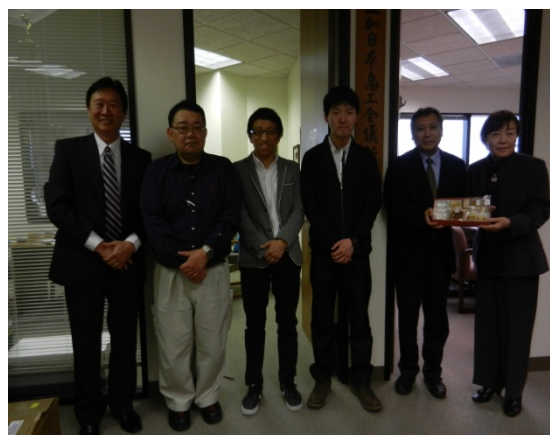
サンフランシスコ シリコンバレー クパチーノにある日系スーパー「マルカイ」にて秩父の地場産品を展示販売した。

食材（主に刺身こんにゃく、くずきり、味噌、ゆずしょうゆ）は、初日又は2日の午前中で完売、秩父と言うか日本食材のニーズの高さが窺え、常設販売については非常に高い可能性を感じた。

開催にあたっては、米国現地のジャパンリロケーション河東社長、日本側ではフジヤマカンパニー山本社長の協力を頂き、米国販売の商品、売上金の流れも確認できた。



サンフランシスコ領事館表敬訪問



北カリフォルニア商工会議所表敬訪問



マルカイクパチーノ店での実演販売①



マルカイクパチーノ店での実演販売②

6. 需要開拓事業

(1) 物産展・市民まつり等イベント催事への参加

下表の物産展・市民まつり等のイベント催事に積極的に参加出展し、秩父地域及び地域の物産を広く紹介・宣伝・販売を行った。

物産展・市民まつり等イベント催事出展一覧表

期 日	出展場所	催 事 名
4月4日～5月6日	羊山公園	芝桜まつり特設販売
4月13日～5月31日	山梨県地場産業センター	甲斐善光寺御開帳記念販売
6月6日～7日	豊島区グリーン大通り	池袋マルシェ
6月7日	秩父ミュージックパーク	チャレンジロードレース大会
6月28日	深谷ビッグタートル	ふっかちゃんバスデーぱーちい 2015
7月11日～12日	桐生地場産センター	2015 じばさん夏の市
8月29日～30日	旭川地場産センター	2015 道北の観光と地場産品フェスティバル
9月12日～13日	山梨県地場産業センター	地場産業まつり
9月20日	秩父市立大田小・中学校	第63回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会
10月3日～4日	備後地場産センター	備後ものづくりフェア
10月14日～20日	東京都庁	秩父路観光キャンペーン
10月17日	荒川水循環センター	下水道フェスタ 2015
11月14日	秩父ミュージックパーク	秩父ウォーキング
11月14日～15日	東村山市役所周辺	第54回東村山市民産業まつり
11月21日～23日	浜松市渚園特設会場	ゆるキャラグランプリ 2015
12月12日～13日	桐生地場産センター	2015 じばさん冬の市
1月11日	西武秩父駅イベント広場	ポテくまくん誕生会
2月7日～29日	飯能ペペ	秩父ミニストア プレセール
2月26日～28日	山梨県地場産業センター	27年度春の地場産業まつり
3月12日	愛知県豊川市総合体育館広場	第2回いなりんピック

*延べ138日間 売上17,938千円

(2) イベント等の開催

①地場産まつりの開催

i. 春の地場産まつり

- ・期 間 平成27年4月4日(土)～5月6日(水)
- ・会 場 1階エレベーター前
- ・内 容 試飲・試食コーナー

ii. 夏の地場産まつり

- ・期 間 平成27年8月13日(木)～16日(日)
- ・会 場 地場産センター2階展示コーナー・1階エレベーター前
- ・内 容 体験教室のイベントを開催してお盆期間中の集客増進を図った
イ.夏休み一研究日替わり体験コーナー (木工・押し花)
 - ・ 木材利用拡大検討会にて夏休み木工教室
 - ・ クリエイト押し花教室
 - ・ 期間中酒、お茶の試飲販売を実施した

ロ.大抽選会 (2階展示コーナー)

② その他特設コーナー

季節感を考慮しながら物産館民芸品・酒売場レジ及び銘菓レジ前平台に特設コーナー設置し、販売促進に努めた他特に民芸品・酒レジ前には年間を通じて「あの花」及び「ここ叫」のグッズを展示販売した。また「ポテくまくん」グッズの販売も開始した。

* ポテくまくんグッズの販売実績

- 企画制作グッズ 平成 27 年 5 月より随時
13 アイテム 売上 1, 4 9 6 千円
- 仕入販売グッズ 平成 27 年 11 月より
2 アイテム 売上 2 8 千円

(3) メディアを利用した地域 P R

テレビ埼玉情報紹介番組「ごごたま・ちちぶなう」でセンター、地域情報、地場産品等の紹介・宣伝を行った。1 月にはスタジオにて生放送で地場産品の紹介を行った。

その他雑誌等への情報提供、資料提供は随時行った。

7. 情報対策事業

Facebook ページ及びホームページの活用

26 年度から開始した「秩父地場産センター物産館」の Facebook ページに加えて、新たに 2 つのページを新設、合計 3 つの Facebook ページを活用し、ホームページにも連動させながら、センターの業務案内、物産館におけるネットショッピング(4-(1) 秩父ふるさと便事業参照)、貸館施設利用の申し込み等を実施した。

情報トピックスにて、各種イベント案内や、物産館おすすめ商品の発信に努めた。

* Facebook ページ

「秩父地場産センター物産館」：平成 26 年 7 月～毎日更新

秩父ふるさと便 連動 <http://hurusatobin.com/>

「FIND Chichibu」：平成 27 年 9 月～週 2、3 記事更新

秩父地場産センター

FIND Chichibu 連動 <http://www.find-chichibu.jp/>

「ちちぶミニストア」：平成 28 年 3 月～随時更新

8. 観光誘客事業

(1) 旅行業者への営業活動

団体旅行客誘客のため、首都圏をはじめ、東北・東海・中部地方等の旅行業者を訪問し、秩父地域への誘客及び当センターの食事を含む買物立寄りの営業を行った。

特に、圏央自動車道が全面開通したことで神奈川や静岡を始め、茨城、福島方面からも観光客の誘引が期待できるため、秩父市観光課の担当職員をはじめ、秩父地域の観光施設と同行営業し、P R 活動に努めた。

また、隣接施設である秩父まつり会館のリニューアルオープンに伴い、当センターを拠点としたまちなか散策等の提案や、旅行会社から要望が多い「食べ歩き」などワンストップで設定の出来る地域観光施設のパッケージ商品を作成し販売を行った。



- ・訪問営業日数 39日（26年度 47日）
- ・訪問件数 422件（26年度 538件）

9. 施設利用促進事業

(1) 会議室等の貸出

センター施設（多目的大ホール、大小会議室、相談室等）を地域内の企業、団体の会議、研修会、展示会等に貸出した。

貸館の利用回数は 前年比 101.04%、使用料は前年比 107.46% と微増した。

センター施設利用状況表

月	27年度		26年度		比較増減	
	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)
4月	116	1,125	108	597	8	528
5月	101	916	111	685	-10	231
6月	110	1,214	114	1,281	-4	-67
7月	109	867	95	721	14	146
8月	87	568	85	619	2	-51
9月	118	1,531	121	1,461	-3	70
10月	142	1,319	149	1,472	-7	-153
11月	130	995	157	1,184	-27	-189
12月	110	810	83	749	27	61
1月	90	954	96	917	-6	37
2月	115	1,159	104	926	11	233
3月	123	1,103	114	1,077	9	26
合計	1351	12,561	1337	11,689	14	872

※ 上記金額は一般貸出の使用料

※ 回数には、無料貸出及びセンター自主事業(会議等)が含まれる。

(2) レストラン経営等委託事業

地産地消を付加価値とした高単価なメニューを回転率の高い個人客に提供する方向性であったが、客足が伸びないことから、団体客・宴会の受け入れ、施設利用者への営業による会議弁当・昼食の受注、期間限定のメニュー開発販売などの取組みを行い、新たな客層開拓へ積極的に取り組んだ。

昨年中は札所総開帳の影響やランチパスポートによる動員等で売上が大きく伸びたが、今年度については例年並みの売上となった。

また、人材不足のため夜の宴会予約が受けられず、今年度の売上減少の要因ともなった。

秩父茶房レストラン春夏秋冬 売上表

	27年度売上	26年度売上	比較増減	増加率(%)
4月	1,867,493	2,708,694	-841,201	68.9
5月	2,541,575	3,086,089	-544,514	82.4
6月	1,442,265	1,817,427	-375,162	79.4
7月	1,585,291	1,587,375	-2,084	99.9
8月	2,165,825	2,460,066	-294,241	88.0
9月	2,257,105	2,114,740	142,365	106.7
10月	2,141,090	2,544,680	-403,590	84.1
11月	2,281,623	3,334,409	-1,052,786	68.4
12月	1,215,902	1,773,810	-557,908	68.5
1月	1,351,508	2,310,706	-959,198	58.5
2月	1,073,446	1,800,634	-727,188	59.6
3月	1,185,217	1,860,579	-675,362	63.7
合計	21,108,340	27,399,209	-6,290,869	77.0

10. 地場産品展示販売事業

(1) 物産館の運営

秩父地域の特産品(織物製品、民芸品、地酒、ワイン、銘菓、惣菜、食料品、野菜類等)を主に1階物産館において広く展示紹介、販売を行った。

4月・5月は芝桜の開花時期にあわせてツアー団体客・観光客が訪れた。当館への立寄り人数は4月において、前年比77.4%であり、5月は前年比82.9%だった。売上についても前年比84.7%と不調だった。GW以降についても季節感あるディスプレイをこころがけ、歳時にあわせたイベントを実施した。秩父夜祭は、昨年同様店舗を一部改装して実施した。12月2日から4日の売上は昨年比90.0%の実績であった。

26年度は札所総開帳もあり例年を上回る集客数、売上高の増加であったが、27年度は例年度並みの売上であった。

その他、ネット販売(ふるさと便)のリニューアルを行ない新規顧客や固定客による注文の増加に力を注いだ。

物産館売上表 (単位：千円)

月	27年度	26年度	比較増減	増加率(%)
4月	25,252	24,092	1,160	104.8
5月	26,066	36,510	-10,444	71.4
6月	12,840	15,136	-2,296	84.8
7月	14,443	17,454	-3,011	82.7
8月	21,575	24,666	-3,091	87.5
9月	20,038	18,877	1,161	106.2
10月	20,365	22,185	-1,820	91.8
11月	22,827	27,808	-4,981	82.1
12月	22,391	22,473	-82	99.6
1月	19,928	16,824	3,104	118.4
2月	13,426	12,674	752	105.9
3月	15,229	14,516	713	104.9
合計	234,380	253,215	-18,835	92.6

(2) 地元小中学校の課外学習等受入

①中学生社会体験チャレンジ事業

- ・秩父市立秩父第一中学校

期 間 平成 27 年 7 月 8 日(水)～10 日(金)9 時 30 分～16 時(休息含め 6 時間半)

参加者 中学 1 年生 男子 4 名

②小学校社会科見学

- ・西小学校 2 年生 平成 27 年 10 月 9 日 (金) 48 名

1 1. 飯能ペペちちぶミニストア事業(新規)

地域外である飯能市に秩父地域の地場産品を取り扱う常設店舗を設け、販路拡大に努めた。オープニングイベントでは「特産品の当たる大抽選会」を開催し、多くの方に周知した。また、販売商品についてはそれぞれに合わせたラッピングなどを施し、お客様に提案した。



1 2. 管理運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

次のとおり理事会を行い、原案どおり承認可決された。

i 第 1 回 理事会

・月 日 平成 27 年 5 月 25 日(月)

・場 所 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5 階 経営研修室

・協議事項

議案第 1 号 平成 26 年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター事業報告及び決算報告について

議案第 2 号 平成 26 年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター公益目的事業計画実施報告書の承認について

議案第 3 号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター定時評議員会の日時、場所及び提出議案について

ii 第 2 回 理事会

・月 日 平成 28 年 3 月 25 日(金)

・場 所 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5 階 経営研修室

・協議事項

- 議案第 1 号 平成 28 年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター資金運用計画(案)について
- 議案第 2 号 平成 28 年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター事業計画(案)及び予算(案)について
- 議案第 3 号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター職員退職給与引当金の積立について

② 評議員会の開催

次のとおり定時評議員会を行い、原案どおり承認可決された。

- ・月 日 平成 27 年 6 月 15 日(月)
- ・場 所 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5 階 経営研修室
- ・協議事項
 - 議案第 1 号 平成 26 年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター事業報告及び決算報告について
 - 議案第 2 号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター役員の任期満了による選任について
 - 議案第 3 号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター評議員の選任について

(2) その他の会議の開催

上記の会議の他、必要に応じ管理運営に関する会議・打合せ会を開催するとともに、当センターが事務局をしている「秩父観光文化施設連絡協議会」・「地場産センター物産館協力会」・「お菓子な郷推進協議会」の会議をそれぞれ開催した。

(3) 各種会議等への出席

① 全国地場産業振興センター協議会総会

- ・月 日 平成 27 年 7 月 8 日(木)～10 日(金)
- ・場 所 (公財)南薩地域地場産業振興センター (鹿児島県・枕崎市)
- ・参加者 1 名 (山田専務)

② 関東経済産業局管内地場産業振興センター協議会

i 協議会総会

- ・月 日 平成 27 年 7 月 2 日(木)～3 日(金)
- ・場 所 (一財)燕三条地場産業振興センター (新潟県・三条市)
- ・参加者 2 名 (山田専務・亀井係長)

ii 協議会(事務担当者会議：人材育成研修同時開催)

- ・月 日 平成 27 年 11 月 12 日(木)～11 月 13 日(金)
- ・場 所 (一財)十日町地域地場産業振興センター (新潟県・十日町市)
- ・参加者 2 名 (野原課長・亀井係長)

(4) 研修会への参加

① 地場産センター職員改善会議

- ・講 師 専門コーディネータ (中小企業診断士) 高澤 彰氏
- ・月 日 平成 27 年 4 月 22 日 (水)、平成 27 年 5 月 26 日 (火)
平成 27 年 6 月 12 日 (金)、平成 27 年 7 月 8 日 (水)
平成 27 年 9 月 9 日 (水)、平成 27 年 10 月 6 日 (水)

平成 27 年 12 月 9 日 (水)、平成 28 年 1 月 26 日 (火)

平成 28 年 3 月 18 日 (水)

全 9 回 18:30～

- ・参加者 10 名 (役職員全員)
 - ・内容 改善提案の確認、人材育成(研修)、新商品開発(ポテくまくんグッズ)等
- ② 地場産センター職員物産館勉強会
毎月原則第 2 金曜日に物産館パート職員も含めたセンター役職員全員で、物産館における取扱商品の試食会及び勉強会を実施した。
- ③ その他研修会
上記のほか雇用保険事務、雇用対策政策説明会、建築物衛生講習会、一般社団・財団法人運営セミナーなど、販売員も含めて積極的に職員を派遣参加させた。
- ④ 会議出席
元気アップ推進会議、秩父観光祭実行委員会、環境市民会議、秩父地域森林林業活性化協議会、秩父観光協会、アニメツーリズム実行委員会、午歳総開帳誘客促進協議会、芝桜実行委員会、秩父宮杯自転車競走大会運営委員会、都市と森をつなぐ再生可能エネルギー協議会等、地域内各種機関団体の会議に参加した。
- (5) 施設管理等
- ・老朽化による高圧引込ケーブルの交換工事
 - ・害鳥対策によるセンター機械室換気扇の改修工事